

## 児玉文庫

児玉文庫は、明治 36 年 1 月 23 日、徳山町本丁(現児玉町)に誕生した  
私立図書館である。

当時、軍人また政治家として中央で活躍していた児玉源太郎(1852 - 1906)が、人手に渡ってしまっていた  
児玉家伝来の土地を買い戻し、その地に建設したものである。同文庫の初期の蔵書は、有志からの寄  
贈と旧徳山藩校興譲館の蔵書であったも

のから成り、約 8,000 冊であった。

児玉文庫蔵書と貸出箱拡張また改造されながら、徳山の文化の拠点として発展し、昭和 16 年、その  
蔵書は約 42000 が 冊となったが同 20 年 7 月 26 日、空襲により焼失してしまった。

## 徳山ゆかりの人々

### 私立徳山女学校と鉄幹(1873-1935)

鉄幹は明治 22 年 17 歳から 2・歳まで、兄照働経営する私立徳山女学校の国語・漢  
文の教師を務めた、同31年に父礼巖が徳山の徳応寺で死去したときは、その喪主をつ  
とめた。

### 明治の国際人浅田栄次(1865-1914)

慶応元年、徳幡士浅田平作帳男として今の川端町に生まれる・明治 8 年に岐賜小学を卒業その後同  
20 年に今の東京大学に入学したが、翌 21 年アメリカに留学し、

同 26 年にシカゴ大学大学院で最初の博士号を授与された・

帰国後は、青山学階の教授を経て同 32 年に東京外国語学校の英語科主任教授とな  
る。わが国の英語教育界の先駆者として、その発展に尽力した。49 歳で没、



